

トークイベント＋現地視察ツアー 福島風景から読む FUKUSHIMA

11/19 トークイベント
Sat 15:00～18:30

講師 木下直之×土田ヒロミ、鎌田清衛、菅野宗夫
会場 県庁南再エネビル会議室
定員 50名 (申込不要) 参加費 無料

11/20 現地視察ツアー
Sun 9:00～20:00

視察コース 福島市～飯舘村～南相馬市
～浪江町～大熊町～いわき市～福島市
定員 25名 (要申込・先着順) 参加費 無料

未成年者は保護者の同伴もしくは同意書が必要です。
旅行保険料は主催者が負担します。
いわき駅途中下車可。

どちらか1日だけの参加も可能です

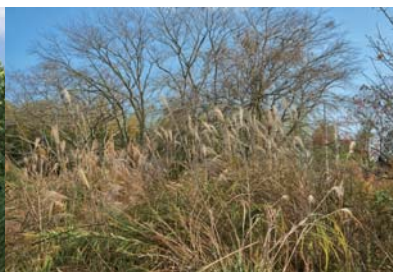
主催 はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会
協力 文化資源学会



満開 (20140413)



夏の薬桜 (20140909)



冬枯れ樹 (20141120)



次の年除染後に立つ櫻を見にやってきた人 (20150421)

写真：土田ヒロミ
撮影場所：富岡町 紅葉山宝泉寺

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトとは…

福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO 等との連携により 2012 年から実施しているアートプロジェクト。はま（福島県の太平洋側）、なか（東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部）、あいづ（新潟県に隣接する福島県の山間部）で展開する活動を通して、福島の文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2016 年度は、11 のプロジェクトを実施。

詳しくはこちら → hamanakaizu.jp

平成 28 年度文化庁
地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業



はま▲なか▲あいづ
文化連携プロジェクト



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトでは、今年度〈伝える考える福島の今プロジェクト〉を実施し、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故後の現状と復興への過程をご紹介します、参加者のみなさんと共に福島について考える場を設けています。

今回は、被災事故当初から現在まで福島の風景を撮影し続け、はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの一環である〈福島写真美術館プロジェクト〉にご参加もいただいている土田ヒロミ氏の写真を通して現在の「FUKUSHIMA」を考える時間を参加者のみなさんと共有します。

1日目は、東京大学教授の木下直之氏と土田氏による対談、被災地の復興に尽力される方々の報告をお聞きし、みなさんと考えるトークイベントを開催。

2日目は、土田氏のガイドにより被災地（福島県中通り・浜通り）をバスでめぐるツアーを行い、フィールドから学びます。

両日はもちろん、いずれか1日のご参加でも歓迎です。多くの方のご参加をお待ちしております。

1日目 (11/19)

15:00～16:30

「福島の風景から読む FUKUSHIMA

～土田ヒロミ WORKS 2011-2016～から」

講師：木下直之（東京大学教授、文化資源学）
土田ヒロミ（写真家）

16:30～17:30

「福島の文化財保存の現状について」

講師：鎌田清衛（おおくまふるさと塾顧問、
大熊町文化財保護審議委員）

17:30～18:30

「福島の農業復興計画現状について」

講師：菅野宗夫（農業、福島再生の会副理事長）

会場：県庁南再エネビル会議室
（福島市荒町4-7 県庁南再エネビル3F）



定員 50名（申込不要）
参加費 無料

お車でお越しの方は近隣の駐車場をご利用ください。

土田ヒロミ

大学を卒業後、サラリーマン時代を経て写真家となる。『自閉空間』で第8回太陽賞を受賞。2008年、土門拳賞受賞。主な写真集に『俗神』、『砂を数える』、『ヒロシマ』、『The Berlin Wall』ほかがある。2011年より福島に通い、変化し続ける風景を撮影している。

木下直之

見世物、祭り、お城、記念碑、博物館、動物園などを通して、日本の近代を考えてきた。兵庫県立近代美術館学芸員、東京大学総合研究博物館助教授を経て、2000年より現職。2008年、『わたしの城下町』で芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2015年春の紫綬褒章受章。

鎌田清衛

2011年、原発事故にともない大熊町から避難。大熊町文化財保護審議委員として、町の文化財の保護保全に尽力。2011年以前より、大熊町の歴史愛好家と活動しているおおくまふるさと塾に携わり、大熊町の歴史の普及にも尽力している。

菅野宗夫

飯舘村で農業に従事。2011年以降は避難先と飯舘村を両拠点としながら、飯舘村の土壌汚染、除染の効果について東京大学等との連携により調査。福島再生の会を立ち上げ、継続的な調査、データの公開などを行い、飯舘村の農業の復興に向けた活動を続けている。

2日目 (11/20)

9:00 福島駅西口バスターミナル集合 出発

↓

9:30 川俣町見学（車中見学）

↓

10:00 飯舘村見学（降車見学有り）

↓

12:30 道の駅南相馬（休憩・昼食）

↓

13:30 大熊町・富岡町見学（車中見学）

↓

17:00 いわき駅着（途中下車可※）

↓

20:00 福島駅西口バスターミナル着 解散

講師：土田ヒロミ、菅野宗夫

※常磐線ご利用で、竜田・東京方面に向かわれる方はいわき駅で途中下車可。
（竜田～小高駅間、相馬～浜吉田駅間は不通）

定員 25名（要申込・先着順）

未成年者は保護者の同伴もしくは同意書が必要です。

参加費 無料

旅行保険料は主催者が負担します。

【ツアーの安全性について】

1. 飯舘村の放射線量は低減し、除染作業も進められています。
2. 飯舘村内では昼間の活動は認められています。
3. 実行委員会事務局職員が放射線測定器で計測し、ポイントごとに安全を確認しながら行動します。
4. 行政広報等で放射線量情報が開示されています。詳細は下記のサイトをご覧ください。

飯舘村放射線量マップ www.f-map.biz/radiMap_iitate/
飯舘村放射線量情報 www.f-map.biz/radiMap_iitate/html/list
大熊町測定放射線量 town.okuma.fukushima.jp

【申込・お問合せ先】

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局
〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25（福島県立博物館内）
tel：0242-28-6000（福島県立博物館代表）
fax：0242-28-5986（福島県立博物館内）
＊毎週月曜日、祝日の翌日は休業。